

# 一般質問通告書

令和5年11月20日

前  
午8時30分受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年 11月 20日

5.11.20

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 稲葉浩幸 <sup>印</sup>  
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	学校教育の充実について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	学校教育の充実について

  

質 問 の 要 旨
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられ、湖西市内の学校現場でも徐々にコロナ以前の学校生活を取り戻しているようです。この様な環境下において学校教育施設の統廃合はもとより、様々な課題を学校教育現場から耳にします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>今回は学校現場の足元で起こっている課題を湖西市と共有し、新しい時代の学びの環境整備を進める。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 小学校高学年における教科担任制度について 外国語、理科、算数、体育など専門性の高い教科において専科教員の配置が求められているが、湖西市の現状と課題を伺う。</p> <p>2. 特別な支援を必要とする児童生徒への対応について 本来なら通級による指導が必要な児童生徒に対し「取り出し授業」を受けることが出来ない状態があると聞く。現状と課題を伺う。</p> <p>3. 外国籍の児童生徒への対応について 湖西市の外国人比率が7%を超える学校へ通う児童生徒も増加しているが日本語レベルが授業についていけない児童生徒が散見されると聞く。日本語初期指導の充実が必要と考えるが、湖西市が考える課題と方策を伺う。</p> <p>4. キャリア教育について 産業部や商工会が主催するモノづくりイベントや、学校主催の職業講話や職業体験活動など各校で行われているが、湖西市のビジョンが見えない。教育現場と行政、民間企業とのコーディネートが必要と考えるが湖西市の考えを伺う。</p>

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一般質問通告書

令和5年11月20日

(前) 午9時3分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年 11月 20日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 神谷里枝

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	市立湖西病院経営強化プランについて
2	学校給食の公会計導入について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	市立湖西病院経営強化プランについて

### 質　問　の　要　旨

#### (質問しようとする背景や経緯)

市立湖西病院では平成 19 年 12 月に総務省から示された「公立病院改革ガイドライン」に基づき、平成 21 年 3 月に 25 年度までの「市立湖西病院改革プラン」を策定し、経営改善への取り組み、また 25 年 4 月からは、変化する医療環境に対し、迅速かつ柔軟な対応が可能となる地方公営企業法の全部を適用し、病院事業管理者を設置しました。平成 29 年から 30 年にかけ、全国自治体病院協議会による診断も受け、令和 2 年度までの病院改革プランの策定・見直しなどに取り組み、診療科目の削減や医師・看護確保、経費削減に積極的に取り組まれてまいりましたが、今ひとつ釈然としないものがございました。市立湖西病院は平成 27 年に病棟の有効活用を図るため、慢性期医療の取り組みを計画し、療養病床への転換を図るための改修工事まで行い計画を断念した経緯や、以前より一般会計からの多額な基準外繰出金の問題、築後 35 年を経過し、老朽化した建物・設備の問題、慢性的な医師・看護師など医療従事者の慢性的な不足の課題を抱える中において、市民の安心安全を確保する観点からも、設置者である市長は「市立湖西病院の存続・必要性」は意思表示をされてまいりました。

この度、2021 年総務省公表の「公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、計画期間を令和 5 年度から令和 9 年度とし、超高齢化社会の急激な進展（いわゆる 2025 年問題）を間近に控え、地域に密着する病院像を明確にし、持続可能な地域医療提供体制を確保するために「市立湖西病院経営強化プラン」の策定に取り組まれております。

#### (質問の目的)

11 月 21 日の議員全員協議会で詳細な説明がありましたが、持続可能な地域医療提供体制の確保にむけた「市立湖西病院経営強化プラン」の見える化を図り、市民の理解を得るために質問致します。

(質問事項)

1. 市立湖西病院は平成27年に病棟の有効活用を図るため、慢性期医療の取り組みを計画し、療養病床への転換を図るための改修工事まで行い計画を断念した経緯や、この時期に多数の看護師さんが退職をされた経緯などの反省点を踏まえ、今回はどの様に医療従事者間の情報共有や共通認識を図ったのかお伺いします。
2. 病院の方針として、総合診療医を加えた「コミュニティ・ホスピタル」を目指し、将来的には総合診療医を含む医療スタッフを育成する基幹施設を目指す、また、急性期から回復期へ一部機能転換し、1病棟を地域包括ケア病棟に変更し経営強化を図るとの事だが、内容と市民へのメリットをお伺い致します。
3. 浜松市との連携協定において期待される事や今後の見通しについてお伺い致します。
4. 災害時を想定した医療供給体制の整備が必要とされていますが、内容をお伺い致します。
5. 移転新築についての考え方をお伺い致します。
6. 持続可能な地域医療提供体制の確保に当たっては、病院利用者からの意見聴取や、市民の理解を得るために情報発信が重要と考えますが、今後どのように対応していくのかお伺い致します。
7. 全国自治体病院協議会の報告書によると「地域医療を継続的に確保するためには、行政か病院かではなく双方が協力して住民の医療を守る仕組みが必要」とされているが、行政としてどのように連携していくのかお伺い致します。

番号	主　　題
2	学校給食の公会計導入について

### 質　問　の　要　旨

#### (質問しようとする背景や経緯)

平成31年1月の中央教育審議会の答申の中で、特に学校給食費については「公会計化及び地方公共団体による徴収を基本とすべき」されました。また、文部科学省は令和元年7月に「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」を発出し、教職員の負担軽減の観点から学校給食費を公会計化するよう示しています。さらに、令和5年8月31日付の「学校給食費の徴収・管理に係る公会計化等の推進について」により、公会計化等の実施に向けた検討を計画的に進めるよう通達されております。「令和4年度学校給食費に係る公会計化等の推進状況調査」の結果によると学校給食費の徴収・管理を公会計で取り扱っている全国の自治体は714自治体(47.8%)で、そのうち学校給食費の徴収・管理について、学校や教職員ではなく、地方公共団体の業務として実施している自治体は519自治体(34.8%)に留まっているそうです。県内では10市町(29.4%)が公会計を実施しており、「実施の準備・検討をしている」が14市町(41.2%)、そのうち「具体的な実施予定年度あり」が12市町(35.3%)、「実施を予定していない」が10市町(29.4%)となっています。浜松市でも令和4年4月から市が徴収・管理業務を行う公会計化を実施し、あわせて学校給食費の額の見直しにも取り組んだそうです。

学校給食費を市が保護者から直接徴収し、小中学校の給食費の徴収事務における教職員の負担軽減、学校給食費会計の適正化、学校給食の安定化を図っていく必要があります。

#### (質問の目的)

学校給食センターの建設も進めているこの機会に、教職員の負担軽減を図るために学校給食の公会計化についても導入し、学校給食費会計の適正化や学校給食提供の安定化を図って頂きたい。

#### (質問事項)

1. 給食費の徴収・管理について現状と課題をお伺い致します。
2. 湖西市として学校給食の公会計導入についてのお考えをお伺い致します。

# 一般質問通告書

令和5年11月20日

前  
午9時05分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年11月20日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 柴田 一雄



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	行政のデジタル化、ICTを活用したまちづくりの進捗状況について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　題
1	行政のデジタル化、ICTを活用したまちづくりの進捗状況について
質　問　の　要　旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、行政のデジタル化の遅れは国を上げての課題が顕著となり、ICTを活用したまちづくりが急務となりました。</p> <p>令和2年10月、湖西市は行政のデジタル化を一体的に推進するために影山市長を本部長とする「DX推進本部」を庁内に設置しました。</p> <p>そして、令和3年3月12日に湖西市は人口減少対策、産業の活性化などの地域課題の解決や社会の変革に対応するとともに、市民の皆さんのが便利さを実感し、市民に寄り添ったサービスを提供するため、AI・ICT等のデジタル技術を最大限活用するデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、「職住近接」の実現と持続可能なまちづくりを目指すことを宣言します。と、市長自らが近隣市町に先立って、行政のデジタル化を推進する「湖西市デジタルファースト宣言」を行いました。</p> <p>この宣言に伴い「市民向けサービスのDX推進」「行政運営のDX推進」「DXを実現するための環境整備」の3本の柱となるDX推進基本方針が定められています。</p> <p>直接、市民の皆様との関わりと致しましては、業務効率化を図るために令和5年7月18日より生成AI「ChatGPT」の業務利用が開始され、他にも公共施設における無料Wi-Fiの拡充や北部地域から順次、水道スマートメーター化、LINEアプリを活用した「道路の異常通報」の仕組みも運用が始まっています。</p> <p>昨年9月定例会においては「マイナンバーカード利用促進キャッシュレスポイント付与事業」に向けた一般会計の補正予算が可決され、マイナンバーカード取得の推進に向けても取り組みがなされてきました。</p> <p>本年1月からは「行かない市役所キャンペーン」も開始されております。</p> <p>行政のデジタル化に拍車がかかり、ウィズコロナ、アフターコロナの時代に沿った行政サービスの確立を考える今こそ、自治体のデジタル変革の重要な時であります。</p>	

(質問の目的)

これまでの当市における行政のデジタル化、ICTを活用したまちづくりの進捗状況の確認と今後の展開について伺います。

(質問事項)

1. 当市における行政のデジタル化、ICT推進に向けた計画、取り組みについて進捗状況を伺います。
2. 「DXを実現するための環境整備」に関わる、デジタルデバイド対策「IT弱者」を出さない、高齢者やITインフラの整備が困難な方に向けた取り組みを伺います。
3. LINEアプリを活用した「道路の異常通報」の運用状況を伺います。
4. 水道スマートメーターの運用状況を伺います。
5. 行政のデジタル化、ICTを活用したまちづくりが急速に進む現況において、今後の新しい取り組みと課題をどのように、捉えているか伺います。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一般質問通告書

令和5年11月20日

前

午 0時02分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年11月20日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

4

湖西市議会議員 竹内祐子印

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	読書活動の推進について
2	R6年4月からのごみ出しについて
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	読書活動の推進について
質　問　の　要　旨	
<b>(質問しようとする背景や経緯)</b>	
<p>図書館は私たちにとって「知る自由と学ぶ権利」を保障するものです。読み、調べ、学び、交流し、必要な情報が得られる施設です。</p>	
<p>市役所の奥にあり、消防署に隠れ、図書館を知らない人もいます。また、不便なところですので子どもや高齢者が気軽に利用することができません。それだからもっと便のいいところに図書館を造ってはどうかということではありません。</p>	
<p>近頃では、学校の図書室が充実してきています。各学校に読み聞かせのボランティアが、子どもたちを本の世界に誘ってくれます。地域にある学校の図書室をもっと多くの人に利用していただき「読み、調べ、学び、交流」ができれば図書費の費用対効果は上がるを考えます。</p>	
<p>人口減少、少子高齢化の時代ですから今あるもので、住民の福祉向上へつながればと質問します。</p>	
<b>(質問の目的)</b>	
<p>自主的に読書活動を行うことができるようにするため</p>	
<b>(質問事項)</b>	
<p>1. 子どもが自主的に読書活動を行うことができるようになるには、学校図書の充実が不可欠だと考えるが、実情と課題、方策を伺う。</p>	
<p>2. 外国人児童、生徒の読書環境の実情と課題、方策を伺う。</p>	
<p>3. 学校が開かれている時間帯に地域住民が、学校図書を利用することができるようになることはできないか。</p>	
<p>4. 図書館を利用したことがない人への利用促進を図る方策を伺う。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主　　題
2	R6年4月からのごみ出しについて

### 質問の要旨

#### (質問しようとする背景や経緯)

R6年4月からのごみ出しルールが変更になることを知らない市民が多い。

「広報こさい 10.15」のごみ出しルールが変わるというコーナーを見て、「なぜ、プラマーク品まで燃えるゴミに出すの？」と、疑問に思った人が多い。資源物回収に慣れてきたものを「なぜ？どうして？」と、疑問を持たれている人が多い。

あまり難しい説明はしたくないので、「汚れのひどいものはもう洗わずに燃えるゴミに出して、リサイクルに回せるものは、回収しているスーパーがあるから買い物のついでに出す方法もあるよ。」と私は説明しているが、今の分別回収から考えると納得のいかない市民が多いことは事実である。また、4月からのごみ出しルールがどう変わるのか、丁寧な説明を待っている市民もいる。

#### (質問の目的)

ごみ回収については市民生活に密接にかかわる問題であるので、新ごみ出しルールの周知、啓発が必要と考える。

#### (質問事項)

1. ごみ出しルールの説明を各地区で行うのか伺う。
2. 資源ごみとして出していたものが、燃えるゴミとして処理することの説明を丁寧にしていただきたいがどう考えているか。
3. ごみ出しのルールを守らなかった人への警告はどうするのか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一般質問通告書

令和5年11月20日

前

午2時08分受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年11月20日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

5

湖西市議会議員 山口 裕教   
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	<input type="checkbox"/> 一問一答 • 一括の質問答弁
番号	主題
1	集中豪雨&土砂災害等の避難情報の伝達と避難について
2	新所原駅等における公共施設のメンテナンス状況について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	集中豪雨&土砂災害等の警戒レベルの伝達と避難について
質　問　の　要　旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
<p>最近では温暖化の影響もあり、日本各地で豪雨災害&amp;土砂災害等が頻発化しており普段は土砂災害等想像しにくい場所でも線状降水帯等が発生し豪雨が集中すると土砂災害発生に繋がってしまう事がよくあります。T Vニュース等で避難情報が伝達されているにも関わらず避難が遅れ災害に巻き込まれてしまう等の不幸なニュースをよく耳にします。</p>	
<p>湖西市においても土砂災害警戒区域に指定されている箇所が230箇所有り、避難情報の伝達として同報無線やホットメール、SNS等による避難情報伝達を行っていてもお年寄りの方達は避難が遅れてしまう事がよくあるようです。</p>	
(質問の目的)	
<p>湖西市の基本構想の1つで、安心して暮らす事ができるまちとして災害に強いまちづくりが進み、地域住民が安心して暮らす事が出来るまちにして行くため。</p>	
(質問事項)	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 土砂災害警戒区域にお住まいの避難対象者は何人か伺う。</li> <li>2. R4年・R5年において避難情報を発令した回数と、避難状況を伺う。</li> <li>3. 市が発令する避難情報に対してほとんどの市民は避難していない、この状況をどう捉えているか。</li> <li>4. 自宅から避難場所までの距離が遠く避難途中で災害に見舞われるような所は無いか？また、梅田地区の住民から「避難場所（西部地域センター）までの距離が遠い」という声が上がっているが、避難場所は適切か伺う。</li> </ol>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	新所原駅等における公共施設のメンテ状況について

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

J R 新所原駅においては大手企業の通勤者やゆる山登山ブーム等により当駅を利用しての乗・降車の方達が多く居るが経年劣化により駅北側の上り専用エスカレーターが故障し約5ヶ月間停止していました（11/10修理完了）。また、駅北口にあるトイレも他のトイレに比べ汚れやペーパーの散乱等が酷く、愛知県との県境で湖西市の玄関口である駅トイレ汚れの酷さやエスカレーター等の長期間停止等は湖西市のイメージを著しく低下させてしまいます。

(質問の目的)

湖西市の基本構想への考えでもある、公共交通を意識し暮らしの利便性確保や湖西市のファンを増やし関係人口や交流人口の拡大に繋げたい為。

(質問事項)

1. エスカレーター・エレベーター等が再び故障等により長期間利用できなくなることを防ぐため、今後の点検・管理方法（メンテナンス）について市の考え方を伺う。
2. 駅北口にあるトイレの使用状況が非常に悪いため、綺麗に管理できているとは言えない。維持管理方法（メンテナンスや清掃）と、トイレの現状を市としてどのように捉えているか伺う。
3. トイレの使用モラルの向上等に繋がる対策（使う側の意識向上）をどのようにしていくのか伺う。
4. 新所原駅の駐輪場に明らかに放置されていると思われる自転車が非常に多く、住民からも状況改善の声が上がっている。放置自転車の撤去までの市の対応の流れと、放置自転車の現状をどう捉えているか、今後の対応を併せて伺う。